

県医労新聞

2011年9月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行1854号(月刊69号)



新しい政策協定に調印し、握手を交わす中野委員長と鈴木露通県知事候補(8月5日 県医労女性部第54回定期大会会場にて)

目次

- 1 P 岩手県知事選
日本医労連定期大会
- 2 P 原水禁 2011 年世界大会
- 3 P ~ 4 P
女性部ニュース
- 5 P 青年部ニュース
- 6 P つぶやき・とんがらし
7月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル
9・10月の予定
お知らせ



「原水禁 2011 年世界大会 in 長崎」に参加した
二戸支部の〇〇〇〇〇〇さん(左)と〇〇〇〇〇〇さん(右)
(8月6日~9日)

『鈴木候補の当選でいのち大切にす る県政へ』

〓知事選挙・9月11日投票〓

〓政策協定〓

岩手県知事選挙（8月25日告示）が、9月11日投票で実施されます。当初4月に予定していた選挙ですが、東日本大震災により延期されていたものです。

今回の知事選挙には、現職を含め4人が立候補する予定です。県医労では、明るい民主県政をつくる会から立候補する鈴木露通氏（いわて労連議長）と、被災した県立病院の再建や増員などについて政策協定を締結し、当選に向けて全力を尽くすことを確認してきましたところです（政策協定の内容は、8月9日付号外裏面を参照）。

〓選挙活動〓

選挙の際には当局から職員の服務規律の確保として、さも医療局職員が選挙活動することは、法律に違反するかのような誤解を招く通知が出されますが、それは全くの誤りです。公職選挙法で禁止されているのは、「その地位を利用して」した選挙活動であり、それ以外であれば何も問題ありません。また、私たち医療局職員は、公務員であると同時に地方公営企業法の適用を受ける企業職員ですので、地方公務員法第36条という政治的行為の制限は、院長や事務局長などの幹部職員には適用されませんが、それ以外の一般職

員には適用されません。ぜひ積極的に選挙活動に取り組

み、支持を広げましょう。

〓県政の転換〓

私たちは、これまで地域医療を守る運動として住民・患者と共に、県立病院の地域診療センター化・無床化に反対してきましたが、実施を強行したのは現知事です。また元県議の候補はこれに賛成して

きました。いのちを大切にす
る県政に転換するためにも、
みなさんの一票で私たちの願
う県政を実現させましょう。



選挙へ行こう！

被災地への支援に感激！

日本医労連定期大会

日本医労連定期大会は7月27～29日、岐阜県下呂市で開催され全国から337名が参加し、県医労からは本部書記局より3名が参加しました▼大会討論では、「増員・夜勤改善」実現めざして昨年秋から行った署名行動や、自治体要請行動など運動の成果が、今年6月17日の「厚労相通達」（看護師等の『雇用の質』の向上のための取組について）につながったのだという確信に満ちた発言が、いくつも聞かれました。この通達を、職場改善の取組にいかすとともに、秋のたたかいを足はやく開始することなどの決意が語られました▼被災地からの発言として、県医労から〇〇〇副委員長が、この間の支援へのお礼と県の「復興基本計画案」の現況やパブリックコメントに対する取組等を報告。あわせて、被災地復興支援のためのTシャツや醤油、日本酒のアピールをしました▼被災県・最初の知事選に対し、岩手医労連〇〇書記長よりカンパの訴えを行い大会1日目終了時に寄せていただいたカンパは、17万324円でした▼新体制には、新たに山田真巳子中央執行委員長が選出され、中央執行委員に中野るみ子執行委員長が選出されました。



被災地復興支援の物品を
アピールする中野委員長

原発ゼロへ連帯し ノーモア・ヒバクシャを

原水爆禁止世界大会 in 長崎



総会であいさつする田上富久長崎市長

原水爆禁止世界大会が、広島・長崎を会場に開催され、これまでも増して国内外、特に潘基文（パンギブン）国連事務総長からも初めてのメッセージが寄せられ、国際的に重要な、注目される大会となりました。また、岩手県など東日本大震災で大きな被害を受けた県からの代表派遣が注目され、大会最終日には、青森、宮城、福島代表とともに舞台上上がり、宮古民商の〇〇〇〇さんが復興への決意を表明しました。

また、福島第1原発事故により、安全神話が崩壊し、原発をなくす運動が大きな共感を広げる中で、新たなヒバクシャを生まないこと、原発ゼロ運動への連帯が表明されたのが特徴です。田上市長は長崎宣言で、『ノーモアヒバクシャ』を訴えてきた被爆国の私たちが、どうして再び放射線の恐怖に怯えることになったのでしょうか、「原子力にかわる再生可能エネルギーの開発が必要だ」と訴えました。

岩手代表団は、32人。県医労からは本部・〇〇副委員長、二戸支部から二人（1面に写真・名前）が参加し、被爆者の声を直接聞き、現地を見、平和公園に折り紙を託してきました。

〈三人の感想文〉

●本部・〇〇：被災地・岩手の代表として注目され、逆に激励されてきました。高台のホテルから見た長崎市街の状況は、すり鉢状の地形で、こんな場所を選んで原爆を投下したアメリカに怒りを感じました。



浦上天主堂・被爆した像の前で（〇〇）

●二戸・〇〇：日本中の各地で、一人ひとりが活動を行い、訴え続けていくことは大きなパワーになると感じます。大会で聞いたり感じたことを今後に加え、平和な世界となるよう活動したいです。

●二戸・〇〇：一人ひとりには微力でも、結集することによって大きな力となります。自分自身が出来た活動は何かを考え、今回学んだこと、感じたことを周囲の人に伝えることから始めていきたいと思いました。

県医労女性部第54回定期大会



組合の絆、大切に

例年より1カ月遅れの開催となった県医労女性部第54回定期大会は8月5日（6日、「ホテル森の風 鶯宿」で行われ、代議員・オブザーバーあわせて17支部・本部94名が参加しました。

討論では、被災した沿岸の支部から組合の支援に対する感謝の言葉があり、絆の大切さを実感しました。

そんな中で、震災で患者、病床数が減り、収益も減少していることから、超勤するとイヤミを言われたり、時差勤務をすすめられるという実態が出されました。仮設診療所がスタートした高田支部では、カルテなどすべて手

書き作業で行われているため増員を求めています。また、大槌支部からは、病院が再建されるのかどうか、今後どうなるのか、不安であるという心境が出されました。

宮古支部では、高田、大槌からの兼務発令で、人員増となり7対1体制が始まっています。しかし、7対1体制の病

2011年度

本部女性部役員

女性部長	〇〇〇〇〇〇〇	(本部専従)
副女性部長	〇 〇 〇 〇	(南 光)
書記長	〇〇〇〇〇〇〇	(大船渡)
委員	〇〇〇〇〇〇	(宮 古)
	〇 〇 〇 〇	(二 戸)
	〇 〇 〇 〇	(中 央)
	〇〇〇〇〇〇	(久 慈)
	〇 〇 〇 〇	(中 央)
	〇 〇 〇 〇	(江 刺)
	〇〇〇〇〇〇	(中 央)
	〇 〇 〇 〇	(磐 井)



女性部

院からは、年次が取れない、具合が悪くても休めないなど、まだまだ人員が不足している実態が出されています。

その他、「突然の兼務発令に、仕事に身が入らない」「9回夜勤の多発」「上司のパワハラに耐えきれず退職に追い込まれた」などの事例も出されました。

震災の経験から、組合に結集すること、声を掛け合うことの大切さを確認した大会でした。

食べて、楽しんで 温泉でゆったりと

大会には親子での参加も多く、26名のお子さんも夕食交流会と一緒に楽しみました。南光支部女性部は今年も見事な踊りを披露し、楽しませてくれました。また、恒例のビンゴ大会もメイド服の司会者の登場に盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

機関紙コンクール



機関紙は女性部の行事を知らせる手段として、また、参加した組合員の声や写真を載せて活動内容を紹介しています。今年の機関紙コンクールは、多忙ななか発行した以下の7支部に、記念品と賞状が贈られました。

- 二戸支部「ねえ ちょっと」
- 中部支部「しらゆり」 ■胆沢支部「いさわ」
- 南光支部「はこべ」 ■千厩支部「うまっこ」
- 釜石支部「女性部ニュース」
- 宮古支部「かっぽうぎ」



お帰いなさいませ!
私たちがビンゴ大会に
ご案内しま〜あ。



(上左) ○○○○さん(南光支部)の踊り。キマッテます。
(下) いつも楽しませてもらっています。南光支部のみなさんの踊り。

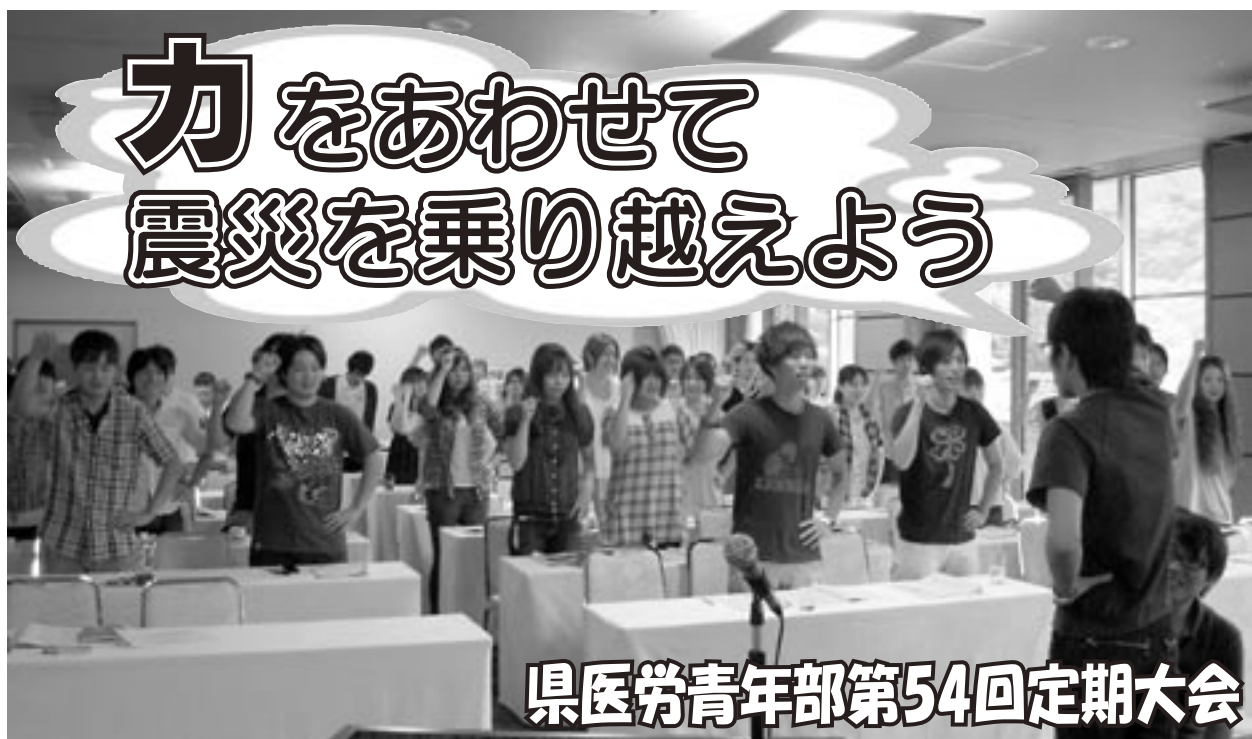
記 念 講 演

心 に 寄り添うとは何か



講師の太田宣承さん

大会2日目は、沢内村「碧祥寺」の副住職で、特養ホーム「光寿苑」副苑長の太田宣承さん(37歳)が講演をしました。「ここに寄り添う」とは、どういうことを、被災地でのボランティア活動を通して見えてきたことを例にあげて話されました。ガレキの中に自分の生活の痕跡を探しに行ってしまう被災者の心境、亡くした家族への思いなどを紹介しながら、マニュアルどおりにしか動かず、被災者の心情を損ねた支援活動の様子をユーモアを交えて話されました。笑いあり、涙ありの講演に、参加者からは、「もう少し聞きたかった」「人生観、死生感について考えさせられた」「自己満足の支援であっていけないと痛感した」などの感想が寄せられました。



青年部定期大会は、7月23日(土)・24日(日)新鉛温泉「結びの宿 愛隣館」を会場に、代議員(28名)・オブザーバー(16名)を含む16支部・本部、55名の出席で開催されました。

大会議事に入る前に、県医労特別中央執行委員でもあり、いわて労連事務局長の〇〇〇〇〇〇さんを講師に迎え、「3・11東日本大震災とどう向き合うか」と題して学習会を行いました。震災の被害状況をふり返り、改めて復興に向け自分たちがどう関わっていくべきかを考える機会になりました。

定期大会では参加全支部から発言があり、「震災後、勤務体制が変わり、今後の人員について不安」「体調不良で夏季休暇を使われた」「チーム間での業務量に差があり不満が出ている」など、人員不足による職場の問題が話されました。

また、全く青年部活動を行えなかった支部も数支部ありましたが、その他の支部では苦労しながらも歓迎会、ボウリング大会など青年部独自の行事を開催し、中央支部では7年ぶりに定期大会を開催したことなどが報告されました。

すべての議案について承認され、再任された中村青年部長の団結ガンバローで閉会しました。その後は、温泉と美味しい料理、お酒で楽しく交流しました。

2011年度青年部役員

役 職	氏 名	支 部
部 長	〇〇 〇	大船渡
副 部 長	〇〇〇〇〇	胆 沢
書 記 長	〇〇 〇〇	一 戸
委 員	〇〇 〇〇	久 慈
	〇〇 〇	二 戸
	〇〇 〇	中 央
	〇〇 〇〇	遠 野
	〇〇〇〇〇	中 部
	〇〇 〇〇	南 光
	〇〇 〇	釜 石
	〇〇 〇〇	宮 古

青年部中央交流会 in 仙台

仙台ハイランド&温泉&お買い物ツアー

と き 2011年11月19日(土)～20日(日)

と ころ 仙台市内 (宿泊は温泉地を予定)

参加費等の詳細が決定しましたら、チラシ等でお知らせします。
仙台駅までは各JR駅より往復、新幹線を利用する予定です。

つばやま

暑い日が続きますが、

夏季休暇でリフレッシュして、また、仕事がんばるゾ!!と、今は夏季休暇を楽しみに暑さとたたかっています。

大船渡支部 すいとう

7月に入って毎日暑い日が続いて大変です。一日中、扇風機をつけていますが、エアコンにするタイミングがいまいち……? いつからつけようかな!?

大東支部 育休中ママ



震災後、エコ運転を心がけるようになったためか

(?) 燃費が向上しました。ちよつとの心がけでこんなに違うものですね。

磐井支部 ベガ

暑中お見舞い申し上げます。じつとり暑い毎日です。家の近所のガレキも大分片付いて、草がボーボーです。壊れていたアスファルトも、やっと昨日直してくれました。まだまだ先は長いです。

大船渡支部 テレビっ子

7月号パズル 当選者発表

7月号パズル「まちがいは7つ」には17名の応募があり、16名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを東支部)

贈ります。
■7月号当選者(敬称略)
越冬カメ虫、かすみ草、さくら、うまつこ、チューリップ(一戸支部)、ニップ(中央支部)、ベガ(磐井支部)、シラネアオイ、まぐろ(南光支部)、育休中ママ(大東支部)



今回の地震は大変なことになる、いろいろなことを経験しました。早く元の生活に戻るように祈っています。

遠野支部 ○○○○

夏休みの方がたいへんだと、初めて気付く、私も1年生のママ。

一戸支部 天むす

とんがらし

今年も原水爆禁止世界大会が、老若男女、日本中から、そして多くの海外代表も出席して開催された。66年前にアメリカ

によって原爆が投下され、被爆した広島、長崎が目に注目される日でもある。しかし、今年は少し趣が異なった。それは、岩手をはじめとした東日本大震災での被災地への連帯と、とりわけ福島原発事故による新たなヒバクシャ発生への怒りであった▼原爆資料館には、被爆直後の荒涼とした街の写真があり、歪んだ鉄塔や建物が展示されている。どこか沿岸の被災地に似ているものを感じた。なぜ、被爆地と被災地が似ているのか。その答えは、原爆のエネルギーの約半分が爆風になり、その爆風に襲

われて街が破壊されたことであつた。そして被災地は、地震のエネルギーが津波となり街を、役場を、病院を襲つた。ヒバクシャ、福島原発事故での避難など、原爆の被害は放射線という誤った認識があつた▼被爆からの復興には、人の力が必要であり、多くの炊き出しが組織されたことも記録・展示されていた。沿岸被災地でも同様である。そして、こういう時だからこそ、リーダーが必要であり、その力が復興の内容を、スピードを決める。被災地での現知事の対応を見て、知事選立候補を決めた元県議もいるが、ちよつと気づくのが遅いのではないか。現知事に見切りを付け、昨年から候補者を模索してきた「明るい会」とそれに応じた鈴木候補。ぜひ、その先見の明で復興へのリーダーシップを期待したい。(は)

県医労女性部

秋のバスハイク

とき: 9月17日(土) ところ: 平泉・中尊寺

秋の一日を世界遺産平泉で過ごしてみましよう!



毛越寺庭園



スケジュール

- 09:00 盛岡駅西口出発 (マリオス前)
- 11:10 中尊寺
ガイドさんと一緒に見学
- 12:30 昼食とショッピング
(地産地消レストラン)
- 14:15 毛越寺見学
- 15:00 平泉出発
- 17:00 盛岡駅西口到着 (マリオス前)

解散



職場川柳

- ◇順番の 定時退庁 うれしい日 (月1回)
- ◇9回も 夜勤やらせて ごめんなさい (勤務表つくる人)
- ◇増税を 復興財源 言い訳に (大企業のいいなり)
- ◇「経験」と「労基法」は別ですよ (厚労省通達)
- ◇復興へ 想いをつなぎ 知事選挙 (毎日が投票日)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送り先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は9月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!

9月の予定

- 3日(土) ~ 4日(日) 岩手医労連定期大会(ホテル大観)
- 6日(火) ~ 7日(水) 看護要求実現全国交流集会(熱海)
- 11日(日) 知事・県議選投票日
- 16日(金) 支部長会議(水産会館)
- 17日(土) 県医労女性部バスハイク(平泉・中尊寺)
岩手医労連青年部定期大会 (キャラホール)
- 22日(木) ~ 23日(金) 組織拡大強化・共済推進全国交流集会 (花巻温泉「千秋閣」)
- 24日(土) 第2回地域医療を守る全県交流会 (あえりあ遠野)
- 29日(木) 岩手医労連女性部定期大会(県民会館)

10月の予定

- 1日(土) いわて労連定期大会(共済ビル)
- 1日(土) ~ 2日(日) 第2回地域医療を守る運動 全国交流集会(東京)
- 15日(土) ~ 16日(日) はたらく女性の中央集会(東京)
岩手医労連壮年部集会(花巻温泉)
- 20日(木) 国民医療を守る10.20国民大集会(東京)
- 22日(土) 第146回中央委員会(水産会館)
- 23日(日) 全国青年大集会2011 (東京)
- 28日(金) ~ 29日(土) フレッシュセミナー (森の風)

